（十三日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭　第一第三日曜
定價　壹ヶ月五十錢、壹枚二錢、郵税十錢
廣告料　一行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

濱三木炭功勞者
二十三日の總會席上　表彰される人々

石城、双葉、相馬からなる濱三郡木炭同業組合總會は來る三月二十三日午前十時から富岡町公會堂に於て開催しなほ當日は功勞者並備人の表彰式を擧行するが表彰者氏名は左の如し

△（石城郡赤井村）草野米彌（同勿來町）根本庸次（同川前村）菊地壽七（双葉郡木戸村）高原甚藏（同大野村）植田銀之助（相馬郡中村町）荒竹次郎（以上は組合事業ゝため率先改良の術に當り他組合員を指導し木炭の聲價發揚に努め販路の擴張したるもの）

△志賀丑松　菊地久之丞　志賀昌人　藤原德太郎　中島作太郎　松本彥次郎　原田治郎吉　本田庄吉（以上は同一主家に廿五年間勤續のもの）

△山崎武頼　眞反仙之助　佐藤吉次郎　緑川澄之助　鈴木龜松　園部鐵太郎　佐藤宇之助　横田幸太郎　今野昇　半山留次　大越三吉　志賀嘉吉　齋藤守重　鎌田幸之助　山田喜代衛　江尻留吉（以上は組合定款及法令を遵守し品行方正にして業務に勉勵なるもの）

△長谷川米四郎　佐藤榮太郎　佐藤政之助　蛭田周平　園部長治　馬山源次郎　三本木集治　佐藤政治　安達善吉　佐山助次郎　佐藤直治　木村信吉　北郷寅吉　末永三次郎　池田辰次　山田梅吉　岡田喜代次（以上は同一主家に十年間勤續せるもの）

△（檢査員）猪狩末吉（指導員）鈴木良七（以上は本組合員にして職務に忠實他の模範となるもの）（以上）

平公會堂に　警察が移轉
今秋八月頃に

平警察署が石城郡役所跡へ移轉するのは今年八月頃になる模樣であるが同署の移轉と同時に現在事務所を置いてゐる各種團体が追ひ立てられるのは勿論である現在平町公會堂として使用されて居る元郡會議事堂が取り上げられる運命にあるこれが取上げられることになれば平町には公會堂がなくなるので町當局並に各有志間には目下公會堂建設問題に就て寄々協議が進められて居るが財政難に苦しめられてゐる平町としては公會堂の新築は當分困難なるものと一般から見られて居る

急速には行かぬ　平驛官舍の移轉
此處を商街にしたいと　町民多數の希望

平町の發展に伴ひ屢々鐵道官舍の移轉が一般町民から叫ばれ同所を商業街となすべきであるとして町當局へ再三陳情して居たが原則として鐵道官舍は驛附近に置くと云ふ事になつて居るので實現困難とされて來た處最近では平驛關係の總てが膨脹した爲治療所へ配給所その他の建造物が出來現在の敷地では全く狹隘を告げ鐵道當局自身が移轉地を物色して來たこれが爲現在の敷地は相當價格に依つて買却される事となれば鐵道官舍の移轉は容易に實現され平町民の希望が達せられる譯であるが果して現在の財界不況の折柄相當價格で買却されるか否かは尙疑問とされる處で從つて官舍移轉は相當の日月を要するものと見られる

出荷優良者に　賞品授與
石城販賣組合

石城郡販賣利用組合では四倉繭市場を經營し、極めて優秀な成績を納め昭和四年度には平町に繭市場を建設する計畫を進めてゐるが同組合では市場取引獎勵の目的から昨年中四倉市場に出荷した中優良者に對して賞品を贈る事になつたが授賞者は左の如くである

△大浦村岩並岩雄外十名△大野村村上喜惠治外五名△夏井村阿部亥之吉外四名△四倉町長谷川時雄外九名△小川組合村菅野彥佐外四名△中町白土貞三△高久村鈴木彥吉△永井村松本松太△江名町河地嘉雄△神谷村鈴木秀明外一名△久之濱町鈴木榮次郎△草野村芳賀辯之助外六名△木戸村山田美穗外一名△大久村柳井幾一外五名△合計五十九名

連續講習會を開き　理想の農村建設
卒業者は指導員に　大馬力の郡農會

石城郡農會では理想ノ農村郷を建設すべく種々奔走中じまつたが將來これが任に當面する青年ノ機關とし石城中堅農民講習會を組織し郡農會技師等が指導して現地並に普通講習を終了したので明十四日から來る三月十三日の一ヶ月間に亘り平町元商業學校内に於て連續講習會を開催する事になり講師として縣高崎技師郡農會大山技師外十數氏が指導するが講習生五十名は卒業生は各町村農會農事指導員に屬託せしめ農事諸般の開發に努め永年計劃のもとに之が建設實現を計る等である

木炭協議會
總會は十九日に

濱三郡木炭同業組合の評議員會は既報の如く今十二日午前十時から舊石城郡衙内に於て開催し新年度の豫算に關する協議を爲したが總會は來る十九、廿日の兩日と決定した尙新年度豫算は次の如くである

△總豫算歲入出共三萬三千百五十四圓四十錢（前年より四百三十圓四十錢の增加此れは四年度より木炭の等級檢査料及此れに要する檢査員指導員の增員に伴ふものである

民謡漫談（十一）
抱夢生

名人が必ずしも東京に居るとは限らない、義太夫の如きものは何處名古屋以西關西の者に一目置かねばならない、其の代り新内は本場丈に名人がゐる名人とか名手とか名聲を廣むるには中央にゐる者に敵はない、新内も其の始まりは大阪とだいふ説もあるが或はそうかも知れぬ且て二上り新内に確に江戸の創作らしい節がある、寛文元年江戸の深川今の猿江町邊から火事が出て隅田川を越ゐて江戸の大半は灰燼に化して了ふた、此の爲め世の奢侈の一も亡び深山の路頭に迷ふ人が出たのである、此の時代江戸には己に新内があつてそして最も太平の民に謳歌せられて居つたが、是等の連中が此の災害を嘗むるに及んで藝は身を助くるの實を行つた、深編笠を被り手拭を折つて頭に戴き人の軒端に立つて新内を流したのが門付けの始まりであると云ふことゞある、然るに本曲は長くして變化に乏しい嗚嗟に人心を捉ふるに不便なる爲色々と苦心の末、新内の一節を採り二の糸を上げて獨特の旋律を考案し茲に麗しい二上り新内なるものが出來たとかいふことも聞いてゐる然し此の事に關しては寡聞なる私の保證の限りではない、筑前琵琶の宗家は高峯筑風と相場が定まつてゐるが私の考へでは男子としてもまだ巧者がゐると思ふ、名字は忘れたが清州の名は大方年配の方の記憶せらるゝ事と思ふ、明治の末年頃までは東京の場末あたりでよく顏をさらしたものだが今頃は消息は無論知る由もないが其の技量到底筑風輩の及ぶ所ではなかつたが何にしろ筑風に堂々居を構へ數百の弟子を教へて居るのみならず有樂座又は京橋の金澤亭等の帝都一流の寄席へ出演し一方清州は年が年中日本國中を放浪して滅多に東京にゐない始末であるから徒に筑風の名計り全國的に響いた譯である

大正五年頃から七八年まで全盛であつた上州の八木節も今は殆ど影を潛めたが始めて淺草の古い江川の玉乘席へ乘り込んだ頃は實に素張らしい人氣であつた

此の一座の頭分たる大正入道は八木節の元祖であるといふ振れ込みであつたの、三光堂や日蓄では爭ふてレコードに吹つ込んだものだ、所が數ヶ月後に至つて大正入道は上州の八木節を代表するに足るものではない駒込源太といふ本元本家は膝づきとしてあり入道は一介の旅藝人であると藝が判つて大笑ひした事がある

産業實務講習
月末から五日間

石城産業組合實務講習會は來る二十八日から五日間午前九時より午後四時まで平町元役所内に開催されるが講師は縣から招聘さる筈で講習生資格及科目は左の如し

△資格　産業組合役職員及組合員中の希望者並に中堅青年講習修得者
△科目　産業組合關係法規、組合簿記（以上）

講談　幕末秘帖　紅怨亂心（158）
渡邊默禪作　宮野歌春畫

と、憤然として遊み出た者がある

「越前屋さん、一寸承はります」

激して戰く聲を強ひて抑へてゐるかのやう誰かと見れば雪江の叔父の吉右工門であつた

「はゝ、何なりともお尋ねください」

濱之助は素破こそ反對黨の領袖が何か言出すぞと內心多少の恐怖、それを平氣らしく傲然と構へた。

「此の遺言狀で見ますと、お萬さんのお腹に出來た子へ家督を讓れと書いてございますな」

「はい、それがどうしました」

「出來た子があれば、無論嗣うせなければならないのでございますが、子がないとすると如何なりませう」

「いかにも御道理なお尋ね、それなれば申すまでもなく妹のお雪を取立てるのが順當の計ひでございませうな」

と吉右工門は得意になつて突込んだ

「さて、したならば此の身代はお雪の物、お雪に讓り渡すべきが當然で何も遺言だの糸瓜だのと面倒らしく騷ぎ立てるにも及ばないぢやございませんか」

「モシ〳〵、近江屋さん」

と濱之助はそれを遮つて

「貴君は土鼠の飛脚のやうに先潛つたことばかり考へてゐらつしやる、お萬の子が有るか無いか一應お調べになつてからそれを被仰つた方が宜しうございます」

と嘲るやうな口吻

「し、調べも豆腐もあつたものではない私は未だお萬さんが御出産になつたといふ噂も聞きませんが」

「ソレ、それだから困る。御親戚なら最う些と眼鼻を利かして戴きたい、お萬は今月が恰ど纈帶、さあ此の腹がお目に著きませんか」

「えつ！そ、そ、それぢやア、か、懷胎をなさつたのか、へ、へい——」

吉右工門は喫驚して眼を瞬つた。族も意外の二の矢とお萬は「お恥かしうございます、何の因果でございませう」と又た泣沈む

「併し越前屋さん」吉右工門は更に加はつた怒氣を釣上る眉に見せて

「假令その子が產れたにもせよ、遺言があつたにもせよ、勘太郎ばかりかお雪まで、も此の家を出すといふのは、そ、そりや一体何事でげす。勘太郎の歸參が許せぬと云ふなら許せぬでもよい、併しお雪に何の咎があります。咎もないお雪に對して、そ、そんな無慈悲な取扱ひをするといふのが、から勘兵衛どのゝ本心ではござりますまい。き、狂人になつたのか、それとも酒にでも醉つたのか、エーサ古狸に誑されて、好い加減な出鱈目を書いて渡したものでせう、け、怪しからぬ、實に怪しからぬ遺言狀だツ」

と息捲いた

それを冷かに受流して

「モシ〳〵、近江屋さん！その苦情は誰に被仰るんで。遺言狀の文句がお氣にならぬとあれば貴君も佛になられて黄泉にゐる勘兵衛どのへ面と向つて何とでも被仰い、手前は遺言の言譯まではしませんぞ、アハヽヽヽ」

皮肉に彈き返して呵々と笑つた

吉右工門は切齒をするばかりに口惜しさが混上げた額顳の動脈の邊にびく〳〵と波打たせて赫と濱之助を睨みつけて。

明日の吉凶
舊曆一月五日　新曆二月十四日

▲一白　外部の不安去らず進まんとすれば失敗あり▲二黑　發展向上の大吉日なり氣緩みせぬやう注意▲三碧　地盤を固めて進めば永久の基ゐを開くべし▲四綠　別に無理を働かずとも自然と發展あるべし▲五黃　一度び立てたる計劃は何處までも貫くべし▲六白　交際上注意せざれば爭論を生ずることあり▲七赤　空想に走らず堅實にじり〳〵進むが最も吉▲八白　行詰り居りたる計畫も追々と緒に着くべし▲九紫　不安はあれど遠からず順調に赴くべし

平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

平町南町
大和田醫院
電話一二九番

高級車貸切
開店披露
自動車御用ハ
電話三四三番（サシミ）
平驛前
昭和タクシー

外科一般（入院隨意）
内臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

釀造元
清世界
銘酒
各炭礦御用達
（吉）清水屋
石城小名濱町
小野晋平
電話六番

自慢の御菓子
經濟と實用を兼ねた一等品としての自信を誇る弊社製のお菓子は
御家庭用に！
御進物用に！

特製品
▽尼子殿中▽時雨の松
▽龍燈あられ▽平の櫻
▽名物尼子豆▽菊の友
▽磯の花▽コマロンケーキ
▽塩せんべい▽パン粉各種

市内各菓子店で發賣
是非御愛用を願上ます
平製菓株式會社
電話三六〇番

夜間診療
胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平町南町　松村病院　電話一〇七

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋
山崎合名會社
電話一〇七番

新重役を加へて 磐炭の基礎改革
高岡氏の警告も出て きのう株主總會

磐城炭礦の臨時株主總會は十二日午後二時より東京本社樓上に開會し重役（取締役）増員の件を諮つたが劈頭淺野社長は住吉坑の企業並に綴坑の排水作業の經過を詳報し更らに一昨年不慮の災害を蒙つてより二ケ年に亘り無配の餘儀なき事情に至つた苦心を物語つた上刻下の此の急場を整ひ將來の基礎を確立する爲め澁澤家を代表する阪谷男爵を重役に煩はす事となつた事情より更らに自分は甚だ多忙の爲め午前六時より重役と會見するの困難なる爲め、理由を以て令息良三氏を重役に當らしむる事となつた旨を述べて萬場に諮り終つて新重役阪谷男爵の就任挨拶あり、次に高岡唯一郎氏は大株主を代表し

我が磐城炭礦は常磐第一の優良なる鑛區を有し亦た諸種の點に於て完全なる機能を有し乍ら事業考しからず年々無配當を繰り返すが如きは何らか困つて起る缺陷がなければならぬから各重役は充分の調査と努力を拂はれたいと

警告的、注文を與へ午後二時半散會したが阪谷男と淺野良三の重役就任は同炭礦の爲め一大勢力を加へた事は勿論之れら新重役の參加によつて根本的の一大改革を行ふに至るらしく同時に社員の整理も近く斷行されるものゝ如く觀測されてゐる

中野氏が一番乘り 午前中に大半
けふ元郡役所に於て 貴族院議員選擧

全縣下に亘り一ケ月餘の大激戰を續けてゐた貴族院多額納稅議員の補欠逐鹿戰最後の審判は愈々今十三日午前九時から投票を開始された此日濱通り石、相、双三郡の決戰場たる平町元石城郡衙跡の第三選擧分會場には分會長佐瀨農商課長が中央に山崎與三郎氏、江尻傳孝氏、門馬直紀氏の三立會人等が居竝んで定刻午前九時を過ぎる五分平町の中野勇吉氏が一番乘り根本、大島の兩候補の運命を決する最初の一票を投じたのに次いで續々と有權者來場し石城十五名相馬十三名の全有權者中諸橋、丸山の兩氏を除いて全部午後一時までに投票をうしたが丸山氏もメ切までには投票すべく諸橋氏は豫想の如く棄權するものと見られてゐる斯て午後三時投票終了後直ちに立會人は投票函に嚴重な封緘を施し選擧係員並びに警察官護衛の下に福島に輸送縣廳に搬入するが同夜は縣廳でも不寢番をつけて萬一を警戒するはずである、開票は十四日午前縣廳食堂で加勢知事以下係員、立會人列席の下に嚴かに行はれるが結果の判明するのは十時半前後であるが第三分會の投票中大平氏の一票除き他は全部根本氏に投じられたものゝ如く政友派の大勝と豫想されてゐる

小名港豫算通過
愈々來る四月から起工 地方の福利甚大

小名濱商港問題は過去幾年に亘る地元民の熱心な運動と縣當局の誠意ある努力により田中政友會內閣は極力之れが實現を期し本年度豫算に計上し今議會に上程されたが屢報の如くであるが小名港を政友會內閣の手によつて實現逐行されん事は面白からずして極力之れが反對に熱中した民政黨の闘躍は近來相當露骨となり成り行きは可成り重大視されてゐたが現內閣、編成した今年度豫算案は十二日の衆議院に於て八十三票の差を以て通過したので懸案の小名濱商港は愈々來る四月より起工の運びとなり更らに平、小名濱間の鐵道も一ケ年を繰り上げて昭和五年度より起工の事となつたが地方發展の爲め慶賀すべき事として現內閣の功勞を賞はれてゐる

萬引常習の 怪美人
平署に捕はる

平署青田部長は昨十二日午後六時頃一見廿歲前後の頗る付き美人を引致し嚴重取調を爲したが仄聞する所に依ると此の怪美人は小川村大字下小川字梅ケ作萩野ハル(二五)と稱し一昨日の舊二日市午後二時頃平町三丁目角大黑屋洋品店の店頭から混雜にまぎれ毛糸シャツ外二點代約十圓分を窃取萬引し何喰ぬ顏で自宅に歸つてゐた事を探知檢擧されたものであるらしく此の怪美人は萬引の常習犯で餘罪も頗る多い見込であると

江名町にも 無錢大盡
逃げて捕はる

山形縣西村山郡東茂川村字宮貫當時住所不定無職武田佐四郎(三七)は昨十二日午後十一時本郡江名町字立町飲食店坂本イク方に大金を所持せる如く見せて登樓し飲食代十二圓二十錢を支拂ず裏口より逃走せんとするを密行中ノ駐在高橋巡査に逮捕され本日平署に引致し猶は餘罪ある見込みで取調中である

鮮人坑夫の 同志喧嘩
李秀が重傷

內郷村大字高坂磐城炭礦坑夫朝鮮人朴仁留(三一)は昨十二日午後十一時頃同坑鮮人坑夫李秀康(三五)と自宅で飲酒中些細ノ事から口論を始め李ノために殴打されたのに憤慨し所持してゐた刄渡三寸餘の小刀を以つて李ノ背後から斬り付け李が重傷を負つて昏倒したのを見濟して逃走せんとしたが急報に依つて驅付た七海部長の爲めに逮捕本署に於いて目下嚴重な取調を受けてゐるが被害者李秀康は可成の重傷で全治約三週間を要する見込であると

平驛が褒らる

平驛では東京鐵道局水戸運輸事務所長中內榮基氏から出札改札、手小荷物並貨物事務の檢務成績優秀に依るものと昭和三年十二月四日付を以つて褒狀下附された

寢卷の着逃げ
米公逐ひ御用

茨城縣那珂郡中磯町生れ當時住所不定桶職米公事大內要吉(三〇)は小名濱町字古湊桶屋坂本定次郎方に雇はれ中去る一月二十六日夜主人一家の熟睡を見澄し木綿寢卷一枚外桶職道具代約廿圓分を窃取逃走行方を晦ましたので屆出に依り平署で要吉の行方嚴探中茨城縣大津町に潜伏してゐる事を探知昨十二日平署猪狩刑事が出張逮捕本署に引致したが餘罪頗る多い見込だと

栽桑の講習會

本縣主催の栽桑講習會は來る廿六日午前九時田人村小學校廿七日午前九時泉村小學校の兩所に於いて開催されることに決定したが講師は蠶絲課の鈴草技師であると

◁◁◁◁◁◁ 老人雜煮と心中
舊曆正月が產むだ 湯本町の悲喜劇

湯本町大字湯本字向田三九倉金彌之助(八〇)と言ふお爺さんが今十三日午前八時頃朝食に孫を相手に雜煮の餅を喰べ初めたが眼を白黑させて物も言はず打倒れ其ノ儘息を引取つたので家人が驚ろいて附近の醫者を招いて應急手當を受けたが蘇生せず平署から大久保部長出張檢視ノ結果喰べた餅が食道をふさいだ爲め窒息死亡したものである舊正月の生んだ悲劇

酒に狂つた馬車屋 老婆の頭を斬る
舊正二日市の歸り途 植田署で取調中

石城郡山田村荷馬車挽大川安吉(四七)は去る十一日舊二日の初荷で祝酒に醉ひ歸宅したが午後五時半頃自宅附近の居酒屋に酒を呑み掛ける途中行逢つた同村農大川幸二(三二)と口論を始め果ては近所の居酒屋から刄渡七寸餘ノ大鉈を持出して振り廻すので幸二は驚ろいて逃げ出したが尙も安吉は益々狂ひ出し折柄附近を通行した同村柴崎ナホ(六三)の頭部目掛て前記ノ鉈を拋付けたのでナホは左額部に長さ二寸餘深さ七分餘の重傷を負つて其ノ場に昏倒した急報に依り植田署から刑事が急行加害者安吉は直ちに逮捕目下嚴重な取調を受けてゐるが被害者は仲々の重態であると

車座の一味
きのふ好間の賭博

好間村大字北好間坑夫安達菊次方で昨十一日午後十一時半頃車座となつて現金賭の花合賭博を開帳中同村駐在巡査に踏込れ一味は電燈を消して逃走行方を晦ましたが前記安達のみは逮捕本署に於いて目下嚴重取調中であるが共犯三名も今日中に逮捕の見込みである

平町役場の 滯納整理
大体目鼻つく

平町役場では去月以來三年度町稅戶數割並に營業收益稅附加稅滯納者二千人の整理を開始したがその結果漸く大体の整理が付いたぞれでも尙百三十四名金額千三百四十二圓七十錢の整理未濟となつて居るこの外授業料ノ滯納も相當あるらしくこれ等に對しては舊正月十六日以後に於てそれ〳〵强制處分に附する方針であると

加藤翁長逝

內郷村小島加藤丈夫氏嚴父加藤政久氏は病氣療養中の處十二日午後十時遂ひに逝去したが十五日午後四時平火葬場に於て茶毘に附し葬儀は十七日午後一時自宅出棺平町松堂院に於て執行の筈である

機關車脫線
人畜に死傷なし

常磐線助川驛より平驛に向ふ機關車二二七號は昨十二日午後十時頃驛構內に於て

直ぐには貰えぬ
五年からは國營となる 豐間の霧笛信號

石城郡豐間村鹽屋岬燈臺に理想的な霧笛信號機を据付けたが經費其他ノ關係から之を國庫に寄附し遞信省直轄とし經營する樣其ノ筋に對して寄附採納方を申請したが採納の模樣がないの更に此の程陳情した處遞信省では既に豫算編成後なので昭和四年からこれを經營する譯には行かず五年度豫算に計上して經營する樣にするとの確答を得た由で昭和五年度からは國營となる譯である

高萩驛前の 大火
平驛から急援

茨城縣高萩町驛前附近は今十三日朝六時頃突然發火し折柄の烈風に十數軒を燒失し驛舍に延燒せんとの急報に平驛からは保線區主任工夫五十餘名を卒ね臨時列車で急行したが午前八時鎭火した

「藝者と女給」漫談會（下）
速記者（創一生記）

A「夜遊び旅館や料理屋を兼營してゐる家へ行く藝者は淫賣と見て差支へなし、よく東京の會社や商店の出張員が平は安いと言ふ、彼等の話をきいて見ると東京は高くて中々遊べないと言ふだから平は安いから遊ぶには持つてこいと言ふ處だそしてつい遊び過ごして金を使込み平で縮尻る出張員が可成多い樣です」

C「平は安いんですね、東京の樣にうんと高くして中流以下の人は遊べなくすると墮落する人間も少くなると思ふ、そしたら客種もよくなつて料理屋もいゝさ思ふが」

A「それは駄目だ、その反動として東京の樣にカフエーが殖ゑた、今東京ではカフエーの女給が幅をきかして藝者ノ領分を侵して藝者は次第に敗北してゐると言ふ話です女給は玉代いらずの無料だからネ一世の中がいくら進歩しても人間には無料位いゝものはないと見える」

B「うつかりこの邊のカフエーには這入れない、カフエーには不良はつきものと見れて何時もうよ〳〵してゐる、それにこの邊ではカフエーに這入る樣な人は不良としか見られない」

C「我々にはのんびりと食事の出來るカフエーがほしい、そして女給り變りに少さいボーイのゐるカフエーが」

A「いやそれはいけない丁度男が女を慕ふ樣にそんなボーイをだいたらモダンガールやはいから女學生がたし寄せてそれこそ墮落させるもとだ」

B「この頃の樣に不景氣になると白粉代や小遣錢に不自由し女給や藝者らしく生きんがためには餘儀なく淫賣もするやうになる不見轉藝者の多くなつたのも不景氣の反映と言ふ事が出來るして見ると一がいに非難することも出來ないネ」

C「成る程ネ、僕の知人で去年ハルビンへ行つた人の話では、彼方では夕暮時公園を散歩してる婦人はみんな淫賣婦だと言ふ事ですその中には帝政時代の貴族の令孃が落ぶれて夕方になると公園に出稼して辻君をやつてゐる婦人もあると言ふ話でした藝者の中には兩親の犧牲となつてゐるものもあるし、賣れなくなれば自然淫賣をやるのも當然かもしれない」

D「猛烈な藝者攻擊論がだん〳〵軟弱な同情論になつて來た樣ですネ」

…………

A「日本の家庭でも、もつと男と女の交際が自由だつたら花柳界で遊ぶ人も少ないと思ふ」

B「それはそうですネ、人間の一生の內には必ず遲かれ早かれ交際しやふとした動機で花柳界の女と相知る樣になる、若い內遊んだ人は壯年になつてから堅くなると言ふし、若い時分堅かつた人は壯年になつて遊ぶと一番仕末が惡いと言ふが、これは一般の通則だらうが」

A「斷定は出來ないがそうした實例は世間には隨分多い、兎に角若い內に一度遊んだ者は免疫性になるんだネ、免疫性と言ふと一寸おかしいが丁度我々が誰でも一度は痲疹をするも同じように小さい時分にすれば輕くてすむが大きくなつてからすると重いと同じ理屈さ」

C「藝者遊びもいゝがたゞ土產に御丁寧に梅毒なんか頂戴してとんだ恥さらしをする人があるがそんな奴等の氣が知れない」

B「もつと〳〵花柳病の如何に恐るべきと言ふ事を吹き込む必要がある」

B「南歐のローマは梅毒のため亡びたと言ふからネ」

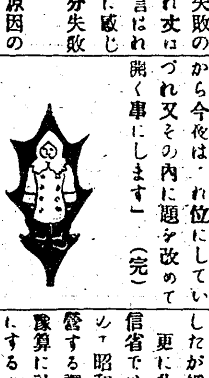
D「我々が學校を卒業する時校長は「青年の失敗の原因は女と酒だ、これは呉々も注意せよ」と言はれたが今になつて痛切に感じるネ、女と酒では隨分失敗してる人がある」

D「青年の失敗の原因の十中の八九迄は女と酒に相場がきまつてる樣だ」

A「毎日の新聞紙を見ても藝者や女給に熱くなつて借金で首が廻らなくなりたお定りの心中とくる、貴き生命を投げ出して犬死をする親不孝者が隨分多い」

B「青春逝いて再び來らず、若い時には大いにやつていゝが締くゝりが肝腎だA君の樣に締る處さい締ればいゝネ」

D「もう大分遲い樣ですから今夜はこれ位にしていづれ又その內に題を改めて開く事にします」（完）



かみそり

◆處變れば品かわる、浪花の葦も伊勢の濱秋といふが時代かわれば名もかわるで料理人が調理師となり、床屋が調髮師、顏をこしらへるのが美容術師、着付をするのが美粧師となるのだから藝者ツてほうがないわ―アタイ達ばかり昔ながらと悲鳴をあげるのも時代の要求か◆なるほど藝者といふものの內容も昔と今は違つて來た、今ぢや藝の無いのが威張つてる時代だから若い奴で音がよければ「アイツ何處か不具だらう」といはれるのでは、藝者なんて情しい氣がする古い言ひ草だが藝がなくつて者ばかりだ◆そこでマサカ藝術家でもあるまい、音樂家でもなく遊藝師でもない、そるとは技術家かも知れないマア性慾調節技師とかそれとも肉の供給技師では牛肉屋見たいかなイッソ花柳病豫防法に對して病毒傳播技師はどうかな

名篇映畫巨彈連發

プログラム

松竹提供映畫……監督長尾史錄
主演 市川右太工門

血涙

何處迄も常闇流轉の人生の沙漠 父の仇を尋ねる……め…歌川伴侶には血涙悲壯の日が

松竹蒲田大作……監督池田義信
主演 栗島すみ子 新井淳 岩城一郎

青春の小徑

紅い花散る青春の夢…田舍乙女 戀の一大交響樂……

日活特作……義士三部曲 篇
主演 新妻四郎 監督池田富保

不破數右工門

定評ある新妻 不破數右工門……段ノ自信確固たる信念絕對名作

（十四日 十五日）替り 料金 大人滿員御禮 普通

平館

父政久儀病氣中の處藥石効なく本月十二日午後十一時五十分八十三才の老齡を以て永眠仕り候間此段謹告仕候

追而二月十五日午後四時より火葬場に於て茶毘に附し二月廿七日午後一時自宅出棺平町松堂院に於て佛式により埋葬仕る可く候

昭和四年二月十三日

嗣子 加藤丈夫
親戚 加藤正保
同 堀江正直
總代 森本盛一
同 百澤易與

公賣公告ニ就キ謹告

本月八日本紙夕刊第二面公賣公告滯納者矢鄕倉藏石炭礦區三十萬余坪ノ公告記事ニ就イテハ全然小生ニ關係無之尙ホ同日石炭礦區九萬二千四百四十七坪ノ差押處分ニ對スル國稅滯納金ハ既ニ完納濟ニ相成リ候間各御取引先ニハ何等御懸念無之樣奉願上候

追而事業方面ハ大イニ擴張致シ日々出炭ノ量ヲ加ヘ發送致シ居リ候間相不變御引立御援助ヲ賜リ度ク此段謹告候也

昭和四年二月十二日
內郷村大字白水
磐城 神奈川炭礦々業所
矢鄕倉藏

新築落成

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科（專門）

平町南町（舊診療所向電一七〇番）

大和田醫院

大和田郡司

◆自炊の便あり